

研究課題名	消化管癌における SGLT family 蛋白の発現状況と臨床病理学的特徴との関連性に関する解析
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡志郎
研究期間	2023 年（倫理委員会承認後）～ 2028 年 3 月 31 日
対象者	2010 年 1 月から 2020 年 12 月の間に、広島大学病院で食道癌、胃癌、大腸癌、十二指腸腫瘍を手術で切除された患者さん。
意義・目的	SGLT1、SGLT2 と呼ばれるグルコースの取り込みに関与する輸送体が、各種の腫瘍で腫瘍部特異的に発現され、その進展に関与している可能性が報告されていますが、消化管癌における、その役割や、臨床病理学的特徴との関連性についてはまだ解明されていません。今回、臨床所見と、プレパラートによる組織学的評価を行うことで、それらの関連性を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、病理組織所見、性別、病期、血液検査値、画像所見、生存期間、腫瘍局在です。また、過去の手術時に保存された手術標本を用いて SGLT1 と SGLT2 に対する免疫染色を行い、SGLT1、および SGLT2 の発現強度、局在を評価し、組織学的所見、臨床経過との関連性を調査します。本研究で遺伝子解析をされる予定はありません。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	ありません
研究の実施体制	研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5191

広島大学病院内視鏡診療科 助教 瀧川 英彦